



# JFRL 情報宅配

## \* 農林水産省 \* (<http://www.maff.go.jp/>)

### 1. 「[農林水産分野におけるゲノム編集技術の利用により得られた生物の情報提供等に関する具体的な手続について(骨子)(案)]」についての意見・情報の募集(パブリックコメント)について

ゲノム編集技術の利用により得られた生物の取扱いについて、生物多様性への影響の観点からは、環境省の中央環境審議会のもとで検討が行われ、その結果、本年 2 月、カルタヘナ法の対象外となる生物については、その使用等に先立ち、主務官庁への情報提供等を行うこととされたところです。農林水産省は、これを踏まえ、農林水産分野における情報提供等に関する具体的な手続について検討しており、今般、国民の皆様からの御意見をいただくため、本日から令和元年 7 月 29 日(月曜日)までの間、パブリックコメントを実施します。(令和元年 6 月 28 日)

<http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouan/190628.html>

### 2. 「[食品製造業における労働力不足克服ビジョン]」の公表について(令和元年 7 月 11 日食料産業局食品製造課)

農林水産省では、食品製造業において深刻化している労働力不足や人材確保難を克服する方策を検討するため、食料産業局長が主催する「食品産業戦略会議」を昨年 11 月から 10 回にわたり開催しました。同会議では、先進的な取組を行っている事業者や専門家からのヒアリング結果を参考にして議論を行い、今般「食品製造業における労働力不足克服ビジョン」として取りまとめましたので公表します。

<http://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/seizo/190711.html>

### 3. 「[第 4 回 食育活動表彰]」募集開始について(令和元年 7 月 12 日消費・安全局消費者行政・食育課)

農林水産省は、食育を推進する優れた取組を募集し、さらに食育を広げていくために「食育活動表彰」を実施しています。この度、「第 4 回食育活動表彰」の募集を開始いたしました。

<http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/190712.html>

## \* 厚生労働省 \* (<https://www.mhlw.go.jp>)

### 1. 「[食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件について]」(令和元年 6 月 27 日生食発 0627 第 2 号)

<https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/000523351.pdf>

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/zanryu/sekoutsuchi.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/zanryu/sekoutsuchi.html) (施行通知)

### 2. 「[食品中の食品添加物分析法]」の改正について(令和元年 6 月 28 日薬生食基発 0628 第 1 号・薬生食監発 0628 第 1 号)

<https://www.mhlw.go.jp/content/000524109.pdf>

## \* 内閣府 消費者委員会 \* (<https://www.cao.go.jp/consumer/index.html>)

### 1. [消費者委員会 第 56 回 食品表示部会]

7 月 5 日に開催されました(議事録準備中)

- ・「食品表示の全体像」について
- ・アレルギー物質を含む食品の表示について

<https://www.cao.go.jp/consumer/kabusoshiki/syokuhinhyouji/bukai/056/shiryuu/index.html>

## \* 消費者庁 \* (<https://www.caa.go.jp/>)

### 1. [食品表示の適正化に向けた取組について](2019 年 6 月 25 日)

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/food\\_labeling/information/](https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/information/)

### 2. 「[機能性表示食品の届出等に関するガイドライン]」等の一部改正について(令和元年 7 月 1 日)

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/food\\_labeling/about\\_foods\\_with\\_function\\_claims/](https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/about_foods_with_function_claims/)

機能性表示食品の届出をされる方へ

機能性表示食品の届出等に関するガイドライン(令和元年 7 月 1 日一部改正)および(新旧対照表)

機能性表示食品に関する質疑応答集(令和元年 7 月 1 日一部改正)および(新旧対照表)

\* 総務省 \* (<http://www.soumu.go.jp/>)

### 1. [平成 30 年度「こども霞が関見学デー」開催のお知らせ]

「こども霞が関見学デー」は、文部科学省が中心に行う「こども見学デー」の取組みとして、霞が関の府省庁等が連携して、業務説明や省内見学などを行うことにより、親子のふれあいを深め、子どもたちが夏休みに広く社会を知る体験活動の機会とするとともに、あわせて府省庁等の施策に対する理解の増進を図ることを目的に毎年行っています。

[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/gyouji/02koho03\\_03002578.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/gyouji/02koho03_03002578.html)

### \* 今月のトピックス \*

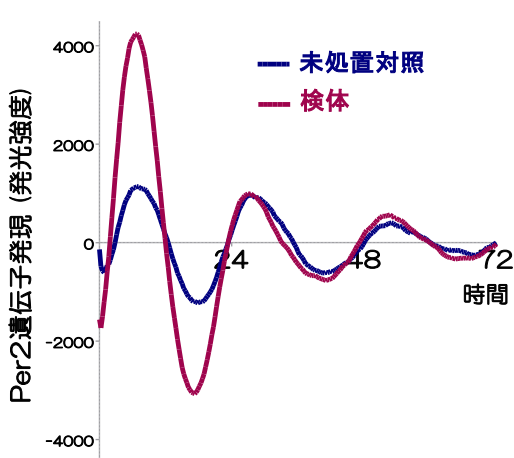
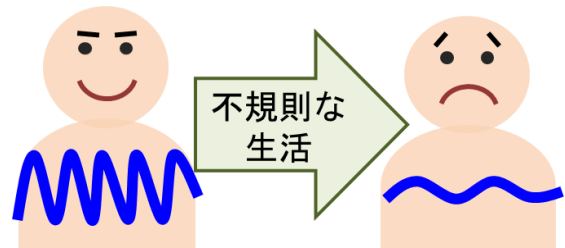
#### [時計遺伝子発現解析試験の受託を開始しました]

生物が持つ約 24 時間周期のリズムのことを体内時計と言い、時計遺伝子と呼ばれる複数の遺伝子によって制御されています。

規則正しい生活では、体内時計は規則的かつ強いリズムで機能している一方、シフトワークによる夜勤等で不規則な生活を送ると時計遺伝子の発現量が弱くなり、体内時計が乱れた弱いリズムになることが知られています。

体内時計が弱いリズムになると、多くの生命活動に影響を及ぼします。この影響力の高さを考慮して厚生労働省は本格的に体内時計の乱れによる不調の実態調査に乗り出す意向を示し、世の中の体内時計に関する注目度が高まっています。

この注目度の高さを受け、弊社では今年度より時計遺伝子発現解析試験の受託を開始致しました。今回はこちらの試験内容について簡単にご紹介致します。



#### 【試験方法】

時計遺伝子の中でも特に重要な働きをされると考えられている遺伝子の1つに「*per2*」があります。*per2*の発現量を化学発光により測定可能な細胞を作製し、この細胞を用いて検体が時計遺伝子の発現量に与える影響をリアルタイムで測定しています。

#### 【試験結果】

左図のような波状の *per2* 遺伝子発現リズムのデータ及び検体添加時の *per2* 発現量を未処置対照と比較し、相対的に示した棒グラフの2つの結果をご報告しています。

本試験に関してご不明の点がございましたらお気軽にお問い合わせください。

[https://www.jfrl.or.jp/service/functionality\\_test](https://www.jfrl.or.jp/service/functionality_test)

(詳細はリンク先の最下段にございます。)

### ☆お知らせ☆

#### 【第 8 回日本食品分析センター技術成果発表会】

日時：2019 年 10 月 3 日（木）10:00~16:45

会場：渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール

近日中に詳細をご案内いたします。

\* ホームページからのお申込みは 7 月下旬に開始します。

#### 【8 月の営業日のご案内】

8 月も土日・祝日を除き、毎日営業しております。

内容についての問合せ、配信アドレスの変更・追加配信希望・配信停止はHPのお問合せよりお願いいたします。<https://www.jfrl.or.jp/contact/create>